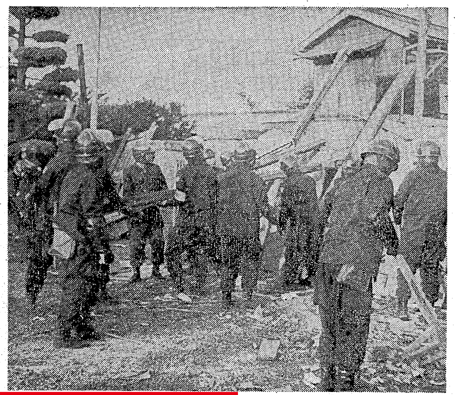
上毛新聞
発行所
上毛新聞社
前橋市古市町90番地
郵便番号 371
電話前橋㉑4341（代表）
夜間編集局宿直㉑4344
振替口座 東京 36947
© 上毛新聞社 1969

群大四カ月ぶり封鎖解除

学内に警官隊導入

きのう早朝 学生の抵抗なし

学園紛争で封鎖されていた前橋市日吉町、群大教育学部・教養部の日吉キャンパスに、十日早朝秋月学長の要請により県警警官隊が出動し、実力で封鎖を解除、同キャンパスは一月二十九日に学生の手で封鎖されて以来、百三十三日ぶりに解放された。ろう城していた学生たちは警官隊の出動をいち早く察知、姿をくらませたためキャンパス内での激突はさけられ、本部前路上で警視庁から指名手配されていた学生一人が逮捕されただけだったが、日吉キャンパスの中からは小型トラック三台分の投石用コンクリート塊やゲバ棒、あきビンなど多数が押収され、四カ月余りにわたった封鎖とゲバ体制で一部は手もつけられないほど荒廃していた。（関連記事六、七面）


県警警官隊によって封鎖解除される群大日吉キャンパス

惨たんたる日吉キャンパス

秋月学長から要請を受けた県警本部は、河本警備部長の指揮で、機動隊・前橋、高崎・伊勢崎署など県下十九署から動員された約三百人の部隊を編成、十日午前四時前日吉キャンパスの正門、通用門前に集結、包囲して交通をしゃ断した。午前四時二十分秋月学長がマイクで正門外から「キャンパス外へ退去」を命令、この命令にもとづいて同三十五分に警官隊約百人は不退去者の検挙と、建造物侵入同損壊、同き棄の実況検分のため正門など各門の封鎖を排除しながらいっせいにキャンパス内にはいった。

警官隊の包囲直前、学内には約四十人の学生がいたが、午前三時五十分ごろ正門から一団となって退去、前橋市昭和町、群大本部・医学部へたてこもったために、学生と警官隊との衝突はさけることができた。

日吉キャンパスにはいった警官隊は、内部の建て物全部を残った学生を求めて検索を行なった結果一人もいなかった。このため、学内の正門、学生部、教育学部本館図書館、教養部事務とうの五むねの封鎖を解除、実況検分を行なった。この結果、図書館の中から電話機大の投石用の石トラック二台分、ゲバ棒二十本あきビン四十九本などが見つかり合わせてあきビン三百本、投石用石小型トラック三台分、ゲバ棒二十本、ヘルメット二個などを証拠品として押収。

警官隊は実況検分が終わった午前七時五十分、全員キャンパス外へ退去したが、学生たちの再封鎖にそなえ約百人を付近へ待機させ当分の間学外から警戒を続けるという。なお、河本警備部長は記者会見で、日吉キャンパスが再封鎖された場合、秋月学長から要請があれば、いつでも再び学内にはいって排除する準備をしていると語った。

来週にも授業再開

険しい正常化への道

群馬大学日吉学舎の封鎖はとうとう機動隊の導入によって解除された。ちょうど、専攻生代表者会議による学生大会開催が予定された当日の十日。検束をのがれた学闘連は再度の学園封鎖をめざして医学部に本拠を移そうと動き出し、一般学生は「ストのなかでの確認書交換」の意見が多い。学生の間に機動隊アレルギーがみられるし導入をめぐっての教職員の反応も複雑。学内で運営機構改革の動きが活発化しているおり、群大の全面的な正常化にはなお多難な関門が控えている。

秋月学長

百三十三日ぶりに封鎖の解かれた群大教養部、教育学部の授業再開について、秋月学長は十二日をめどに事後処理にあたることにしているが、荒廃もひどく全面的な正常化にはなお相当日数を要する見通し。一応、封鎖は解除されたものの、当の学生たちの意見は、機動隊導入について「学生無視」「すぐに ストを解 除すべきでない」という声が多い。

専攻生代表者会議による学生大会は、会場を養心寮（前橋市日吉町）グラウンドに移して午前十一時に開き、同部 全学生（二千百人）の三分の二を上回る七百八十九人が参加「スト解除」の緊急動議を否決し①八項目要求についての大学当局との確認書を交換する②封鎖解除③学闘連不信任—などの議案を賛成四百二十人で「集会決議」した。集会決議となったのは、表決時の参加が五百六十五人と大会成立定足数（七百人）を下回ったため。

同会議は今後、代表団を結成して近く再度学生大会を開き、確認書交換などの具体的な行動に移る予定であり、学長告辞の十二日には大半は「授業」に動きそうもない。

学闘連は日吉学舎を追われて、十日には医学部に対し「図書館分館の使用」を申し入れた。これに対し学部 学生自治会学 友会は、「学闘連は入れるべきでない」との意見をまとめ教授会に進言、学部二クラスは「学闘連に貸してもよい」との討議を行なった。

教授会はこうした意見を反映しながら検討をしている。機動隊導入で、これまで九十人前後だった学闘連派は、百三十人前後にふえ学生の機動隊導入の複雑な受けとめ方を反映している。

代表者会議の一員として六日の学生集会を開いた伊藤博之君（教育四年）は機動 隊導入 について「後のことを考えると導入しない方がよかったかも知れないが、現実を考えれば、やむを得なかったろう。心情的にでなく大局的な判断も必要」と 語り、学 闘連中の「大会開催派」のある学生は「予想していたことだが、力によってしか解決できない大学当局に対して抗議する」と語っている。

一方、教育学部のある助教授は「いまの時点ではやむを得ない」としながら「経過をみれば、教授会がもっと早く学生が提起した問題に、大学の理念から掘り起こすように対応すべきだったことなどやるべきことを十分やっての決断ではなく学生対策に終始してしまったことを反省する必要がある」と語っている。

迫られる全学的機構の改革

【解説】機動隊導入をめぐって学生、大半の教官の間でこれ以前に自主解決をとの努力がどたん場まで続けられたわけだが、このような動きに対して、秋月学長は学生大会の当日「機動隊導入」という打開策でのぞんだ。この学長の決断には、六日の学生大会を控えて、最後の望みをかけていた学闘連による大会が取り消されたことが決定的となった。学長としては学闘連によって解除されない限りいずれにしても〝内ゲバ〟的事態がおこると判断していた。

したがって代表者会議によ[illegible]日の集会前にその成否にかか[illegible]ず「決断」は〝胸三寸〟にあったけだ。十日の集会・大会について学長自身は「代表者会議によるのでなく民青系学生による」と[illegible]見方をとっており、大会をバッ[illegible]・アップした群大教職組などの[illegible]力をほとんど無視したかたち[illegible]った。

十日の学生大会が「スト解除[illegible]などさまざまな意見が結集さ[illegible]ことからみても、この大会を[illegible]した機動隊導入は学生、教職[illegible]間に複雑な反響を呼ぶことが[illegible]の問、避けられそうもないと[illegible]れる。

十二日、あるいは以降に授業[illegible]再開されたとしても、授業を[illegible]る学生、反発してストを続け[illegible]生と分裂するおそれもあり、[illegible]場合は学闘連が再度乗じる余[illegible]残り、学生の新しい執行体制[illegible]る解決策が先決問 題となっ[illegible]た。

スト解除、継続にしても、[illegible]は八項目要求と、これをめぐ[illegible]生、大学当局との確認問題か[illegible]発し、さらに全学的な運営機[illegible]改革という試練を経ないでは、大問題の最終的な正常化は実[illegible]ないという見通しが強い。（角田）

[illegible]

秋月学長が記者会見

封鎖解除に機動隊の出動を要請した秋月群大学長は封鎖解除直後に記者会見して「話し合いで解除ができなかったのは私自身の力不足でもあり敗北感をおぼえる。授業は十二日から再開したいが、環境整備もあるのでオリエンテーションなどできるものから始め、来週にも本格化したい」と事態収拾の方向、考え方などつぎのように語った。

一、東大安田講堂の二の舞いでなくてよかった。ただ、話し合いで解除できず敗北感をおぼえる。学生や教職員による実力排除は避けたいと思っていたので残念だが機動隊にたよった。

一、学園はこんご、職員で守るけれども、学闘連などが力で再封鎖しようとすれば力、つまり機動隊によって排除する。

一、十二日から授業再開するつもりだが、ひどく荒れているので環境整備しなければならず、当面オリエンテーションを行なない。来週からでも本格化したい。

[illegible]、封鎖解除は解決とは考えていない。解決への一歩と考え、これからは静かに勉強できる環境をつくるよう努力する。

抗議集会で気勢

警官隊が日吉構内にはいる前に学内をぬけ出した学闘連学生は午前十時半すぎ、職員たちが校内警備する日吉正門前で抗議集会を開いた。封鎖解除を知った一般学生も含めて集会には約二百人の学生が集まったが、約二時間にわたって立ち入り禁止の立て札前で秋月学長の警官隊導入に抗議をくり返した。

午後零時半すぎ、集会を終えた学闘連系 学生たち 百五十人は、専攻生代表者会議が臨時学生大会を開こうとした同市若宮町三丁目の養心寮付近に自然集合の形で集まり、寮内に向かって大会無効をシュプレヒコールした。このため寮内からも生けがきやへいの内側から「学闘連帰れ」を応酬、一[illegible]棒切れや小石を投げ合い、また付近でデモ行進や集会を開くなど緊張したふん囲気となったが、県警機動隊が無届けデモとして規制したため一時間半後の[illegible]二時すぎ、機動隊に追われるような形で流れ解散となった。

組合員28人が脱退

動労高崎第一機関区 闘争至上主義に反発

[illegible]労高崎 地本第一機関区支部（[illegible]田五郎支部長・組合員三百九[illegible]）の一部組合員梅田東伍機関[illegible]ら二十八人は、十日支部あて組合脱退届けをだした。これは、機関助士廃止に反対して五月三十日決行した動労ストを批判して脱退したもので、同地本では初めて。

高鉄局でも二十八人の脱退に対し、組合の闘争至上主義について いけなくなったものとみている。同局の話によると、五・三〇闘争でも参加せず、平常業務について おり、組合の方針変更を要求したが、うけ入れられず、現状では国鉄職員としての本分をはたせないといっていたという。

木村動労高崎地本委員長の話 正式に脱退をうけ入れるか、どうかは本部へ書類を送ってからきめたい。個人的理由もあると思うので、一応支部長を通じ、慰留を働きかけたい。

一般演説終わる

ASPACきょう閉幕

【川奈】静岡県伊東市の川奈ホテルで開かれているアジア太平洋協議会（ASPAC）閣僚会議第二日の十日は午前、午後にわたって本会議が開かれ、ニュージーランドをはじめとして九カ国の[illegible]が「地域に関する諸問題」に[illegible]て、順次一般演説をし、引き[illegible]常任委員会の報告をした。ま[illegible]ミュニケ起草委員会は夕刻か[illegible]格的な起草の作 業に取りか[illegible]た。きょう十一日閉会する。

米価、据え置き貫く

稲作事業費を補助

政府は十日夜の臨時閣議で、四十四年産生産者米価を正式決定した。「据え置き」か「引き上げ」かをめぐって注目された基本米価は、現行の百五十キロ当たり二万六百四十円に据え置かれた。

[illegible]れに先立ち自民党は午後二時から臨時総務会で大詰めの調[illegible]めた結果、①ことしの生産[illegible]消費者の両米価は据え置く②[illegible]加算は昨年通りとする③稲作[illegible]対策事業費として四十四年度[illegible]二百二十五億円の補助金を支出[illegible]内閣に農政推進閣僚会議を[illegible]する—との 最終結 論に達した。これによって佐藤首相が今通常国会の施政演説で明らかにした「両米価据え置き方針」の政治姿勢は一応貫かれた。生産者米価の据え置きは十一年ぶりで同時に消費者米価も据え置きが決まった。

総務会で最後まで難航した「稲作特別対策事業費」二百二十五億円は、総合農政調査会—政調審議会—総務会を通じて党側が強く要求した基本米価の引き上げ二・一八％（百五十キロ当たり 四百五十円）アップに相当するが、施設、資材購入など米生産の合理化、効率化の実施に必要な財源として市町村へ配分、農民に交付する形をとっている。

自民党総務会では、政府与党首脳による合意内容に対する批判がかなり出され、このため川島副総裁、田中幹事長ら首脳は直ちに福田蔵相を交えて総務会の意向をもとに協議した結果、稲作特別対策事業費の性 格を一部字 句修正して、農民の手に市町村を通じて渡るように手直しし、この修正案を再開した総務会にはかった。

米価対 策協議会（重 政誠之会長）系議員がつめかけたこの総務会は緊迫した空気に包まれ、党首脳の修正提案に異論が展開されたが、結局、党執行部が押し切った形で了承、ことしの米価問題に終止符が打たれたものである。

ことしの生産者米価は米審の〝併記答申〟にみられたように、きびしいコメの需給事情を背景にした点が特徴だった。しかし、全国農協中央会（宮脇朝男会長）など生産者団体は、ベースアップ、物価上昇などを材料に基本米価の引き上げの圧力をかけた。米対協を中心とする自民党内のコメ議員はこれを受けて最低線二—三％アップ確保に動き、総合農政調査会（西村直己会長）案にも二・一八％アップを織り込ませることに成功した。

米価据え置きがようやく決まり笑顔を見せる長谷川農相（右）

米作農民へお礼

長谷川農相談

長谷川農相は十日、四十四年産米の生産者米価を決めた臨時閣議後の記者会見で①稲作特別対策事業費二百二十五億円はこれまで米の生産に努力してきた農民に対する最後のお礼で、来年はこのようなことはない②農政の重点は価格政策から生産政策に移るが、その基本方向は農政推進閣僚協議会で検討されよう—などと述べた。

県民の反響

[illegible]作増産資金を

桐生市農協参事

中川寅松さん（四三）

桐生周辺は真の米作地帯ではないので、あまり強いことはいえないが、全国農業団体ではこの答え次の選挙で出すといっている。地元の出身の長谷川農林大臣のしさも察しられるが、桐生の場合は十四日に理事会を開いて情勢報告をし、今後の対策を決めるが価が決定となれば仕方がないのではないか。

当市の農地も、工場や宅地へと自然に転換されているが、農協としてはさらに稲作増産のための資金を出し、値上げされなかった分は良質の米を作ることによって、反当収益増でおぎないたい。

鉄道料金に一考

高崎市柴崎町、農業

吉井 政夫さん（三七）

私のところは一・五㌶耕作しているが、たとえ生産者米価があがったとしても米による収益はたいした変化はない。しかし、鉄道料金など公共料金があがっているのだから、米価を据え置くなら、農民だけでも値上げ前の料金で汽車に乗せる方途を政府は考えてもいいと思う。たとえば、十俵供出した場合は百キロまで前の運賃で乗せるといった証明書を出すとか、二十俵供出した場合はどこへ行くにしても一回だけは値上げ前の運賃でいいとか、方法はいくらでもあると思う。

据え置きは当然

前橋・自治会館専務

井桁 宇一氏（五五）

物価というものは需給のバランスできまるものであり、供給が多いのだから据え置きは当然だと思う。われわれの商売では米飯はかなりのウエートをしめているが、米価があがったからといっても料金をすぐ値あげするわけにはいかないので、毎 年あげてもらっては困ると思ってい たところだった。一消費者としても、そう考える。

ほしいうまい米

群馬米穀前橋支店長

佐竹 長男氏（五五）

消費者の立ち場を考えれば、あがらなくてよかったということですが、仕事の上では別に影響はありません。むしろ、うまい米をたくさんほしいですね。まずい古米に対する苦情は非常に多く、頭をかかえています。自主流通米制が実施されれば、うまい米は米屋に集まり、まずい米は政府に集まるのではないでしょうか。

質の低下が心配

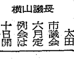
前橋市紅雲町、主婦

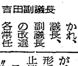
佐々木文代さん（四七）

消費者にとってあがらないことはありがたいが、あふれている古米のことを考えると、全体的に質がさがる心配もあります。しろうとには見分けがつきませんから、安かろう悪かろうにならないようにしてほしい。自主流通米はおいしいそうですが、高くて買えそうもありませんね。

議長に横山氏 副には吉田氏

太田市議会


横山議長


吉田副議長

【太田】太田市議会六月定例会は十日開かれ、議長、副議長の改選各常任委員の選任、市長選提案説明が行なわれた。

議長選は任期二年の申し合わせにもとづく改選で、議長には横山慶司現議長を再選、副議長は吉田清光議員を選出した。

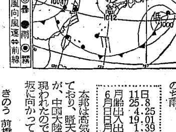
常任委員長は次の通り。

▽総務 岡田定雄▽社会 大川博正▽経済 難波重留▽建設 関口長一郎

【横山慶司議長の略歴】市議三期。富士重工をバックに出ており無所属。太田中卒、四十五歳。太田市本町

【吉田清光副議長の略歴】市議二期。農協組合長。保守系無所属太田中卒、六十三歳。太田市沖之郷

きょうの天気



きょう 北のち南東の風 晴れで夜は次第に曇る。
あす 南東の風、曇りのち雨。

本邦は高気圧におおわれており、晴天が続いているが、中国大陸に気圧の谷が現われたので、天気は下り坂に向かっている。

きのう 前橋の最高気温三〇・一度 最低気温一三・二度（前橋地方気象台）

11日	
月齢	25.8
日出	4.25
日入	19.01
月出	1.39
月入	15.42
満潮	1.44 15.42
干潮	8.55 21.02

叙位叙勲（10日）▽従六位勲六等単光旭日章 北爪令翁（佐波伊勢崎保護司会長）佐波郡境町萩原一八〇七＝五月十六日死去

三山春秋

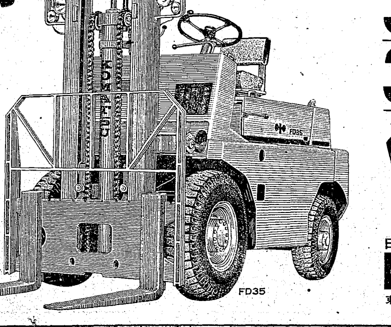
たばこのすいがらが足のふみ場もないほど散らかり壁も机も天井も落書きがびっしり。すみにはうすぎたないふとんがほうりだされてあるし、ほこりでいたるところが真っ黒。書籍や本は書だなからひっぱりだされて床の上に無造作に乱雑に扱われている。これは十日の朝の群大教育学部長室の光景である▼一歩あしを踏み入れたとたんに、腐臭がただよっていたのは、食事のあとのあきかんが、いたるところに積んであったから。そのにおいがたちこめていたせいか。おそらく、床の上にふとんを敷き、たばこをすったらポイとすいがらを床の上にほうりだすような自堕（だ）落な日々を、彼ら学生たちはおくっていたにちがいない。まさに気違い病院の病室かこじき小屋以上の荒廃ぶりであった▼落書きもひどい。しかも低級お粗末さをみずからばくろするような、いかがわしいものばかり。反戦連合革命的ヤクザ派とか、聖ゲバラの死は性ゲバラへ、といったものが多く、若ものの抑圧され鬱（うっ）積した気分を、落書きで逃避している不潔なものが目立ち革命ごっことヒッピー族の関係を実証づけていた▼字もヘタくそだし文句もなんとかの一つおぼえでカベに書いてあった〝学長だって母ちゃん…〟の落書きにいたっては、これでよくぞ大学生と、首をかしげたくなるほど知能程度の低さを表わしていた。こんな手合いが集まって、体制がどうの大学解体だの口走られてはたまったものではない▼それこそ彼らの常套（とう）である〝ナンセンス〟ということばでおかえししたい。また、いままで心情的に彼ら学生を理解して いた人でも、封鎖解除直後の教育学 部をの ぞいたら、いっぺんにバカバカしさにあきれかえり、大学の自治を 聖域視し警官アレル ギー症 にかかってい た愚かしさ をさとる にちがいない。これでようやくまともになったとよろこびたい。

カラーとステレオ専門
電化のサカニワ
ナショナル・パイオニア
★扇風機
お買い上げの方
高級ゆかた地進呈
★全商品景品付
売出中
カラーテレビ
毎月3000円から
高崎店 23-7421 SS 群馬町店 ㈲37-21

丈夫なゴム靴雨合羽 高崎マルカツ

ステンレス
月星印
日新製鋼

現金収入
軍手製造下請募集
◎一人で編機二台電動式操作出来る
二台操作する場合、月収五万円確実
◎特に農家の副業に現金収入最適
○定年退職者、転業者の本業
○奥様方にも家庭で出来る 主人の月収十奥様の収入、毎月貯蓄生活で豊になる大和の下請
○年中仕事有り。工賃現金、指導無料
年中無休見学ご相談にお気軽にご来社下さい
尚、案内書ご希望の方は百円同封（切手可）ご送付下さい。
大和繊維工業KK前橋営業所
前橋市大手町一丁目七の六 群馬大橋通り
〒371電話㉑二一〇二中央病院入口バス停前



かずかずの新機構を採用！
コマツフォークリフト
いちだんと、速く・多く・強く！
ユーザーの強いご要望にこたえて、新しく3トンクラス・2機種が実現しました。かずかずの新機構を採用し、作業性・運転性・耐久性が大巾にアップ！クラス最高の作業能率を発揮します。フォークリフトはコマツの豊富な機種と豊富なアタッチメントの組合せでお選びください。
3トン積 FD30
3.5トン積 FD35
新発売
日本のトップ 世界のコマツ
小松製作所
東京支店／東京都港区赤坂2－3－6 東京(03)(584)7144
コマツフォークリフトの最新資料をお送りいたします
この券をハガキに貼って本社／宣伝部までご請求ください
本社宣伝部／東京都港区赤坂2－3－6 〒107
上毛－1 資料請求券

○群馬営業所（0272）(21)8125

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。